

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤 敏昌
幹事 青山 敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 11

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第205回例会 昭和61年9月9日(火) 晴/曇

◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 56名 出席 34名
出席率 60.71%
前回 9月2日 (修正出席率) 100%

◇ビジター紹介 5名

◇お誕生日祝福

久保田君(9/15)

◇ニコボックス

秋山 茂則君 中部読売新聞(9月9日)に
会社紹介が載りました。

水野 民也君 アサヒグラフ(9月12日)に
中曽根首相とごいっしょの写りが載ります。
ナゴヤタイムズに3日間記事が連載されまし
た。テレビ愛知にも出演しました。その悲し
みと喜び。

三輪 康君 ガバナー訪問休んで申し訳あ
りません。大口さん、有り難うございました。

久保田 皓君 お誕生日祝い。

◇青山幹事報告

1. 第268地区西宮夙川RC(11/6)より認
証状伝達式のご案内が来ておりますので、
参加希望の方は、事務局までご連絡下さい。
2. 1987年ロータリーダイアリー(1,000円)
ロータリーカレンダー(500円)を希望さ
れる方は、事務局までお申し込み下さい。
3. 今度、新しく事務局員として入られました
羽場洋子さんを紹介します。

◇加藤(敏)会長挨拶

本日は、救急の日ですので、一外科医とし
て救急患者の治療に当たって来た経験から、一
二私見を述べます。本来医療は、医師と患者
との信頼関係に立ってこそ、始めて行い得る
もので、私の病院にも場所的に、日夜訪れる
救急患者が後を断ちませんが、幾ら私が最善
の努力を払っても、完治しなければ治療を受
けた側に当然不満は残ります。外科治療を行

なうにあたって、完全無欠に100%の治療は
殆ど不可能な事です。或る場合には、多少の
後遺症は絶対に避けられません。この時、医
師と患者との間に信頼関係があれば、その不
満すら、感謝となって返って参ります。かっ
て故人になられた一外科医が、10年以上前に
「現在の保険医療の下では、良心的な治療が
出来ない」と自らの病院を閉鎖し、医師免許
証をも返還されました。私には、そこまでや
る勇気はありませんけれども、救急医療を行
なうこと事態、非常に抵抗を感じ、私もその
頃、条件付きで救急病院の指定を返上しまし
たが、訪れた病人を放置する訳にも参りませ
ないので、止むを得ず治療をしているのが本心
です。医師の世評程、あてにならないものは
ありませんが、私自身は、好不評相半ばする
までに到達出来れば、十分と思っています。
私は、自らの病院の広告は殆ど出しておりま
せんが、私の様な者でいいと思われる患者を
診るだけで、十分と考えているからです。

◇講演

“青少年の問題行動”

愛知学院大学文学部心理学教授

江見 佳俊 先生 (紹介 黒須君)



9月4日、警察庁少年課は、今年上半期の
全国の小、中、高校生のいじめによる事件の

実態について発表し、この期間のいじめ事件は166で、昨年の同期より39.4%と大幅に減少したことを明らかにした。

いじめが社会問題として取り上げられるようになったのは昭和57年頃からであるが、その後、極めて憂慮される事態となってきたため、60年に入ると、文部省や法務省、地方自治体の教育委員会などがいじめの問題に積極的に対応するようになった。今回発表されたような成果もたらされたのもこうした努力が実ったためであろう。しかし、今回の調査結果について警察庁少年課は、必ずしもいじめの土壌がなくなったわけではなく、今後も大人の側の対応は欠かせないと注意を呼びかけている。

一方文部省は、本年8月「思いやりの心を育てる指導」をまとめ、思いやりの心を豊かに育てていくことが、学校、家庭、社会での緊急な課題であると提言している。ここにこそ大人の側の対応の内容があるといつてよいであろう。しかし、家庭や学校においては、学校におけるように計画的、組織的に対応することは不可能である。しかしまた、スタンフォード大学のA・バンデュラは、子どもが他人とのかかわりを通して学習していく過程にはモデリング(観察学習)と名づけられる学習過程があり、モデルとなる他人の行動を観察しただけで、子どもの行動は変化していくということを指摘し、家庭や社会での大人の側の対応の仕方に示唆を与えてくれている。

現代の日本社会には、物質的豊かさやひきかえに心の豊かさを見失いがちな風潮があり、都市化の進行による連帯感の希薄化なども相まって、大人自身、互いに思いやり、いたわり合うなどの心の豊かさを十分にもち合わせているとはいえないような行動様式をとっている場合が決して少なくない。大人は、自らの行動が知らず知らずのうちに子どもにとってモデルとなり、彼らの行動に影響を及ぼしているのだということをまず自覚すべきである。

◇「ロータリーの友」重要記事のご紹介

雑誌委員会委員長 鈴木正男

当クラブは、去る9月2日第204例会ガバナー公式訪問日に於て、第260地区塚田和男ガバナーより講話を戴きました。講話の要旨については既に10会報に掲載されていますが、その内容に関連した記事が「ロータリーの友」の本年7、8、9月号に掲載されています。所謂28の84決議を巡る論議、ポリオ・プラスキャンペーン、女性会員の入会問題等について下記の記事を是非一読頂き、ご理解を深めて頂きたいと存じます。

記

(7月号)

アルバート・セービン博士
ロータリアン誌6月号より — P 6

個人奉仕の軽視
豊井 村田善明会員 — P 13

(8月号)

ロータリー・クラブ定款・細則の改正
(1986年規定審議会において改正) — P 43

(9月号)

ポリオ・プラスについて
ロータリーの友顧問 渡邊和美会員 — P 3

ポリオ・プラスについてのQ & A
日本ポリオ・プラス委員会 — P 4

女性の入会拒否をめぐってR I 理事会が公式方針を声明

ロータリアン誌9月号より — P 8
決議34宣言とポリオ・プラス

第255地区ガバナー 小竹俊夫会員 — P 16

シートベルトをしめよう

ロータリーの第4奉仕部門(国際奉仕)を旅行する利点は沢山ありますが、その一つは、ラッシュアワーによる遅れが皆無であるということです。事実、その反対であります。この奉仕部門では、多数の人が同方向に旅行すればするほど、目的地に早く着きます。群集の中に加わりましょう。

(情報抄録より)

◇10月度クラブ行事案内

10日(金) 秋季家族会
御園座「吉例顔見世」PM 4:00~

14日(火) 座雀会
松風閣 PM 6:00~

30日(日) ファイアサイドミーティング
松風閣 PM 6:00~

◇例会変更のお知らせ

名古屋瑞穂RC 9/25(木) 夜間例会の為、かすが荘にてPM 6:00より

名古屋空港RC 9/29(月) 青少年社会奉仕活動(障害児招待飛行)の為、9/28(日) 名古屋空港ビルにてAM 7:00より

名古屋南RC 10/1(水) 例会会場の都合の為、熱田神宮会館にて

◇次回例会(9月16日)

講演 “歴史に学ぶ”
歴史作家 大内 美代子 さん
(紹介 杉山君)

◇次々回例会(9月30日)

講演 “ボリビアでの国際協力を
ふりかえって”
名古屋大学助教授 農学博士
武岡 洋治 先生 (紹介 木全君)